

沖縄観光 2 次交通の利便性向上に向けた検討委員会

今年度の取組方針

令和元年6月4日

平成30年度の実施内容・成果

- 有識者検討委員会の組成
- 委員会を通じた沖縄県版の観光2次交通オープンデータに係る仕様の策定
- データ整備補助事業者の選定（一般社団法人沖縄オープンラボラトリ）
- 県内関係者の理解促進・意識醸成のための観光2次交通オープンデータに係る勉強会および説明会の開催
 - ・本島3回、八重山圏域3回、宮古圏域2回、合計8回（その他、各関係者、事業者への多くの個別アプローチ）
- 効果検証のための事前状態の把握調査（旅マエ・旅ナカでどのように公共交通を調べているか？課題は？等。八重山で実施）



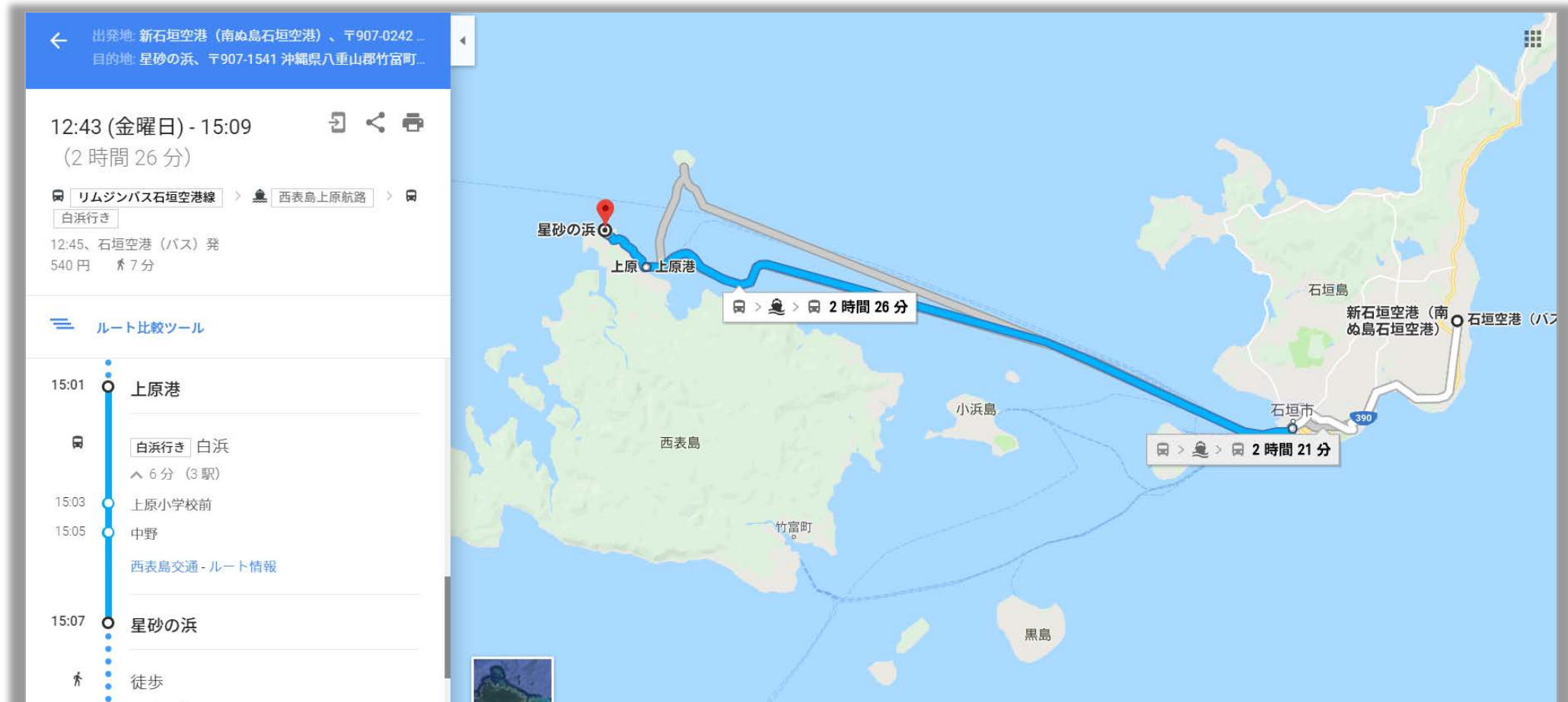
- 県内のバス・船舶事業者52事業者中50事業者からの事業への賛同（覚書締結）・データ取得
 - 残り2社も自社でデータ整備を進める方針であり、今年度半ばには全県の公共交通オープンデータの整備完了見込み
- 宮古・八重山圏域においてはデータ整備完了
 - 本島に先行してGoogle Mapで全バス・船舶の乗換検索が可能に
- 観光情報についても、1,300スポットのデータを収集
 - 鮮度の確認、データ公開方法、情報提供ルールなどを引き続き検討
- 公共交通を利活用した観光モデルルートの構築（宮古・八重山圏域。12コース策定→厳選8コース）
 - 公共交通を利用した観光（レンタカーを利用しない観光）でもこんなに楽しめる、回れるという意識醸成を企図

参考：宮古・八重山圏域でのGoogle Mapでの検索例

➤ 本島に先行してGoogle Mapで全バス・船舶の乗換検索が可能に

▼石垣空港～星砂の浜(西表島)までの検索結果

石垣空港 ⇒  路線バス(東運輸) ⇒ 離島ターミナル ⇒  離島船舶(安栄観光) ⇒ 上原港 ⇒  路線バス(西表島交通) ⇒ 星砂の浜



参考：レンタカーを利用しない観光モデルルートの構築例（宮古・八重山圏域）

- ▶ 約500名へのアンケート結果では、ゆったりした、車窓を楽しめる、生活体験／現地交流ができる、お酒も楽しめるようなルートがニーズの高い傾向にあった。
- ▶ 今年度の本島でのモデルルート構築に活かすとともに、レンタカーを利用しない公共交通による観光の魅力をPRする際に活かすものとする。

たびらい 沖縄版
「ローカル旅行」の楽しみ方から予約まで

観光情報 ツアー 宿・ホテル レンタカー アクティビティ バスツアー グルメ

沖縄観光情報 観光地を楽しむ 季節のおすすめ ローカル旅を探す 最新の旅行情報 沖縄のきほん

たびらい > 観光情報 > 沖縄観光情報 > あえてレンタカーを利用しない、沖縄・離島のモデルコース12選



あなたの知らない沖縄の“ローカル”な世界へ

レンタカーを利用しない 沖縄・離島のモデルコース12選

あえてレンタカーを利用せず、ゆったりと気の向くままに南国・沖縄旅を満喫できるモデルコースを紹介。地元のおばあとの会話、飲み歩き、車だと通り過ぎてしまいがちな沖縄の原風景など…。クルマ旅では経験できない、ディープな沖縄を体験することができます。

1,115 1,380円

シェア ツイート

レンタカーを利用しないからこそ、できること

バス（公共交通機関）を利用するメリット①



移動はのんびりと。自由な時間を過ごせる

バス旅では、クルマ旅と違い、移動時間はある意味自由な時間。青い海や赤瓦屋根の風景、さとうきび畑など沖縄らしい風景を眺めながらぼーっと過ごすのもよし、普段は忙しくてなかなかページが読まない本を読むのもよし、ただただ民衆を眺めるのもよし。のんびりと目的地へ移動するからこそその良さがそこにはあります。また、宮古島などの離島では現地の絶景が楽しめます。バスだと車よりも車窓があるので、車内からより美しい景色が楽しめますよ。

バス（公共交通機関）を利用するメリット②



バスを待っている時間は、地元の人たちとの出会いの場

じゃらんの宿泊旅行課査によれば、「地元の人のかすびタリディを感した」の部門で沖縄県は14年連続で1位に選ばれています。見知らぬ人にあいさつをして、困った人には手を差し伸べるのが沖縄の人の気質。バスを待っている時間も、さっと地元のおじい、おばあちが話しかけてくるはず。地元の人たちとの「ゆんたく（おしゃべり）」を楽しんで。

バス（公共交通機関）を利用するメリット③



車の運転を気にせず、昼からお酒が楽しめる

おいしいグルメは旅行の楽しみのひとつです。沖縄の海の幸、山の幸を味わうなら、泡盛やすりオンビールなど地の酒を選びたいもの。クルマ旅とは違い、バス旅だからこそ運転を気にせずにみんなでおいしいお酒が味わえます。合言葉は「かりー（乾杯）」で、沖縄の飲み歩きを楽しんで。

Okinawa Local Trip

時間を気にせず気ままな離島旅

01 石垣島へおーりとーり。ここにしかない“魅力”を巡る旅



沖縄本島よりさらに南に位置する八重山諸島。中心の石垣島をはじめ、各島々には豊かな自然や伝統文化が今なお残っています。昔から変わらない人の“温かさ”に触れたり、八重山諸島特有の“絶景”を眺めたり、その土地に根付いた“食”を味わったり…。ここにしか

八重山ののんびりと竹富島を巡る

今年度の実施内容

- 1 交通情報および観光情報の継続的な入手（オープンデータ整備）
- 2 オープンデータの周知広報および利活用促進
- 3 オープンデータを活用した公共交通の利用促進につながる観光モデルコースの作成
- 4 オープンデータを活用したアイデアコンテスト等の実施
- 5 バス停ナンバリング等とオープンデータのリンクに係る検討
- 6 オープンデータに伴う効果検証の実施
- 7 検討委員会

* 上記 1～6 等の今年度事業内容の検討に加え、次年度以降のオープンデータのさらなる活用や、沖縄観光 2 次交通の利便性向上全般に向けて必要な取組・施策に関する意見を取り纏めることも想定（提言等）

* 今年度、新規事業として実施する「空港～ホテル間等の移動利便性向上事業」についての報告等も予定

1 交通情報および観光情報の継続的な入手（オープンデータ整備）

- ◆ 交通情報については、50/52事業者からデータ整備の許諾を得ており、原則データも入手済であるが、ダイヤ改正等への対応や消費税増税に伴い想定される運賃改定への対応、細部のデータ入手について、補助事業者と連携し対応する。
- ◆ データのGoogle map以外での公開に向けて、覚書の再締結を行う。（⇒[参考1-2参照](#)）
- ◆ 補助事業者と連携し、以下の内容等についても検討を進める。
 - ・運行情報等の動的情報の入手・提供等の運用方針の検討、効率的なスキーム構築
 - ・観光情報のオープンデータとしての提供範囲や許諾、google等への登録方法等のデータ運用方針
 - ・レンタカー営業所等のデータの活用 等

▼オープンデータ(交通)のGoogleMapでの公開に向けたロードマップ(工程)案

	4～6月	7～9月	10～12月	1～3月
■ 八重山・宮古圏域(バス、船舶)				
バス・船舶公開(100%)▽	メンテナンス、データの質向上			
■ 沖縄本島(バス)、その他離島含む				
		▽本島圏域バス公開(10%)	▽本島圏域公開(50%)	▽本島圏域バス公開(100%)
		▽コミバス公開(50%)	▽コミバス公開(100%)	
		▽動的データ(運休通知)開始(2-3事業者)		
■ 沖縄本島(船舶)				
		▽北部圏域船舶公開(50%)	▽本島発着船舶公開(50%)	
		▽北部圏域船舶公開(100%)	▽本島発着船舶公開(100%)	

※ 公開についてGoogleトランジット規約に準拠する路線

2 オープンデータの周知広報および利活用促進

①国内外観光客に県内において公共交通を使った観光が魅力的なこと（検索もでき便利なこと）を発信する

- ・周知リーフレットの作成
- ・モデルコースの発信 など

②Google以外の検索可能な国内外乗換案内を増やすとともに、オープンデータを活用したアプリ開発等を促進する

- ・オープンデータのダウンロードページ作成
⇒国内外大手CP等への周知・利活用促進
- ・アイディアソン・ハッカソンの実施 など

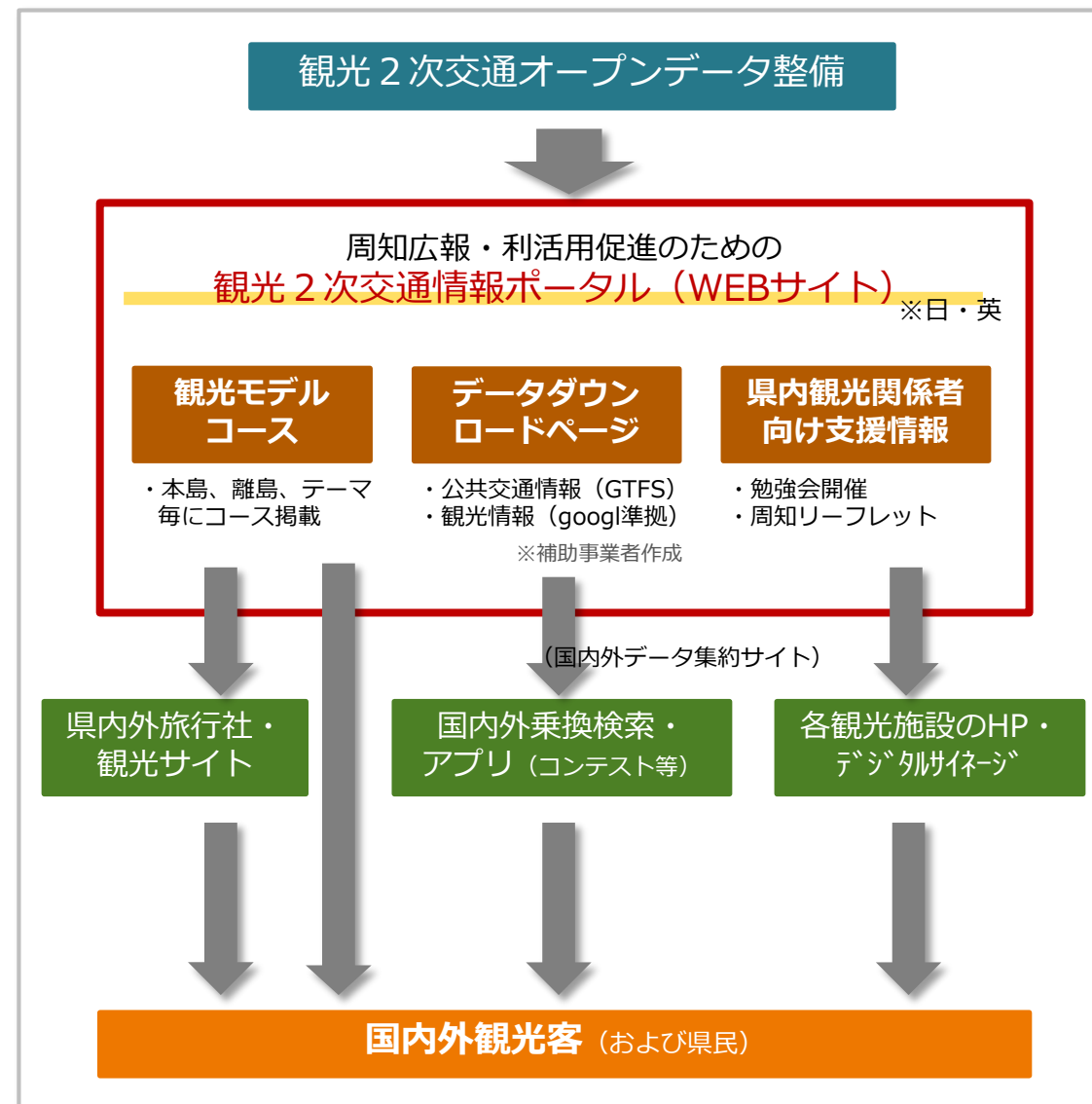
③県内の観光施設や宿泊施設等でのオープンデータの活用を促進する

- ・観光施設や宿泊施設のHPのアクセス情報へのAPI促進、予約メールの返信の際の公共交通アクセス情報の提供、デジサイでの情報発信促進
- ・そのための勉強会等の開催

④上記を推進する上での、フロントとなるポータル（WEBサイト）を構築する（日・英）

⑤その他

- ・国内外旅行博等での周知広報
- ・県内観光関係者への様々な機会での周知広報 など



3 オープンデータを活用した公共交通の利用促進につながる観光モデルコースの作成

- ◆ 本島および周辺離島を対象に20コース程度の作成を予定。
- ◆ 日本人観光客、外国人観光客ではニーズが異なることを踏まえ、日本人向け、外国人向けとに分け検討をする。
- ◆ 作成したモデルコースについては、日本人向け、外国人向けそれぞれニーズの確認を行った上で構築する（日本人向け：たびらい沖縄会員へのアンケート 外国人向け：沖縄在住の外国人へのモニターアンケート（グループインタビュー等））。
- ◆ 日本人向けは「たびらい沖縄」のサイトに特集ページを作成し情報発信を行う（平成30年度に作成した宮古・八重山圏域の観光モデルコースを含め発信）。
- ◆ 外国人向けには、観光2次交通情報ポータル（WEBサイト）における発信（英語）を予定。OCVB等の関係者と連携した情報の拡散を図る。

▼今年度のモデルコース作成にあたっての基本的な考え方

- ◆ 本島および周辺離島を対象に20コース程度の作成を予定
- ◆ 日本人、外国人と別々に作成
- ◆ 世界文化遺産20周年を見据え複数箇所の組み込み
- ◆ エリアやテーマに偏りがでないよう配慮（本島各地の多様な魅力を伝える内容とする）
- ◆ 公共交通を利用した観光の魅力を訴求できる内容とする

【公共交通を利用したモデルコースのどこに魅力を感じたか？】

（平成30年度のアンケート結果より）

- | | |
|--------------|--------------|
| 1位 ゆったり過ごせる | 2位 車窓を楽しめる |
| 3位 生活体験／現地交流 | 3位（同率）お酒が飲める |

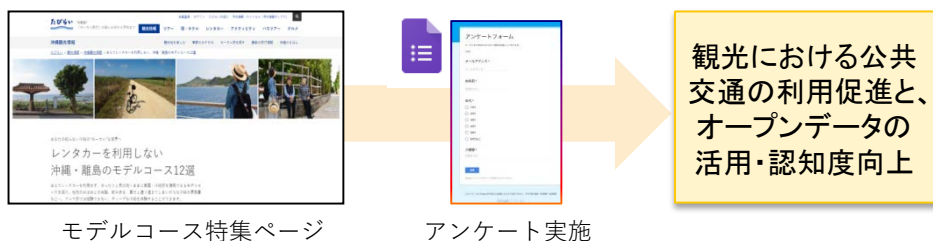
- ◆ 一部、レンタカーを組み合わせたコースも検討する
（例：空港から中北部の宿泊地まではバス。宿泊地周辺の周遊はレンタカー 等）

3 オープンデータを活用した公共交通の利用促進につながる観光モデルコースの作成

日本人向けの観光モデルコース作成について

「たびらい沖縄」と連携し「レンタカーを利用しない沖縄観光モデルコース10選！」等の特集ページを作成

- 【内容】観光客目線で観光（目的地）をベースとしたコースを作成。
- 【集客】年間1,800万人（UU）の観光客が訪れる「たびらい沖縄」サイトで特集ページを作成。
- 【周知】「たびらい沖縄」情報配信媒体を活用し、周知と集客の最大化を図る。
- 【検証】たびらい会員へのアンケート実施。観光と交通のニーズを獲得する。500サンプルの取得を想定



モデルコース例

※次頁に作成イメージ

テーマ	コース例
首里地域を散策。 沖縄の城下町の「情景」に癒されて	那覇空港 → ① → ホテル → ② → 金城町の石畳道 → 徒歩 → 首里いろは庭でランチ → 徒歩 → アカギ → ③ → 紅型体験 → ④ → ぶくぶく茶 → 徒歩 → 首里城(夕景) → ⑤ → 栄町市場

外国人向けの観光モデルコース作成について

外国人向けにもそれぞれの趣味・趣向を踏まえた魅力あるモデルコースを作成

- ・観光案内所等への外国人観光客からの問い合わせ状況、ニーズ等も参考に対象とする国・地域の趣味・趣向を踏まえたコースを検討

▼外国人の観光ニーズの例（空港、バスターミナル案内所ヒアリング結果等より）

- ◆国・地域によって問い合わせの多い観光地は異なる
- ◆大まかには欧米系はアクティブ重視、アジア系はショッピングのニーズが高い
 - ・アジア系からの問い合わせが多い観光地の例：
 - ⇒アメリカンビレッジ、あしびなー、おきなわワールド、残波岬、真栄田岬など
 - ・欧米系からの問い合わせが多い観光地の例：
 - ⇒平和祈念公園、慶良間、やんばる等の自然観察など

モデルコース例

英語圏	アジア圏
慶良間諸島で楽しむアクティブ旅	異国を感じる沖縄のディープスポットで遊ぶ
那覇空港 → ① → ランチ(那覇市内) → ② → 泊 → ③ → 阿嘉島(シュノーケリング) → ビーチ散策 → ナイトツアー	那覇空港 → ④ → アメリカンビレッジ → サンセットビーチ → ⑤ → イオンモールライカム → ⑥ → コザ中の町

3 オープンデータを活用した公共交通の利用促進につながる観光モデルコースの作成

▼モデルコースの作成イメージ(一例)

首里地域を散策。沖縄の城下町の“情景”に癒されて

コースMAP

3つのおすすめポイント

- 首里の伝統文化や情景に心から癒される
- 首里城近くにはパワースポットが点在！
- 夜は栄町市場付近で飲み歩き

時期 | 主な移動手段 | 対象 | 目安時間

通年 | 電車 バス 徒歩 | 女子旅 | 一日

コースの概略

START

01 乗り換え ゆいレール「那覇空港駅」から「首里駅」へ

02 宿泊 2018年9月にオープンした「ノボテル沖縄那覇」に宿泊

03 歴史 金城町の石畳道を歩く

04 グルメ 心や体が元気になる「ぬちぐすい（命の薬）」を堪能

コースの詳細

START 那覇空港

01 乗り換え 12:00～12:27
ゆいレール「那覇空港駅」から「首里駅」へ

12:39 - 12:50
「バス停・首里駅前」からバスに乗車

13:15～13:30
徒歩で移動

02 宿泊

交通は、オープンデータを参考に
した時間、便名、料金を記載。

17:50 - 18:00
徒歩で移動

09 自然 18:00 - 18:30
首里城の絶景スポットで夕日を眺める

19:12 - 19:25
バスで移動

19:30 - 22:00
栄町市場でディープな飲み歩き

10 グルメ

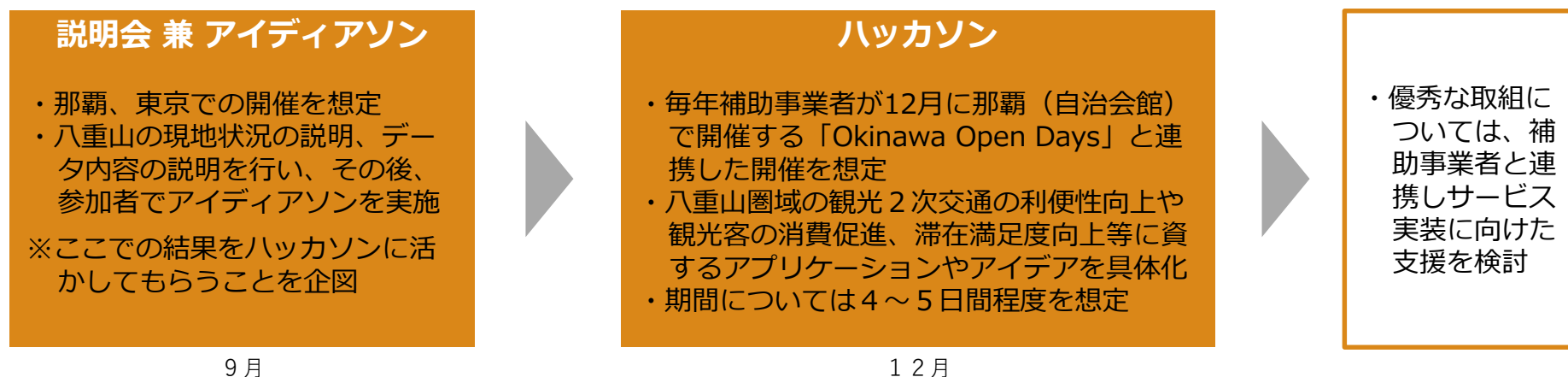
ゴール地点に近いホテル・旅館

観光客目線で観光（目的地）を
ベースとしたコースを作成。

4 オープンデータを活用したアイデアコンテスト等の実施

- ◆ 先行的にデータ整備を進めており、オープンデータ（データのオープン化）にも全島で理解のある八重山圏域を対象としたアイデアソン・ハッカソンの開催を想定
- ◆ 「八重山圏域を対象としたアイデアソン・ハッカソン」は、補助事業者の整備する交通情報オープンデータ、観光情報オープンデータを用いて、八重山圏域の観光２次交通の利便性向上や観光客の消費促進、滞在満足度向上等に資するアプリケーションやアイデアの実装に資する内容を想定する。
- ◆ 事前の現地状況やデータの内容説明をかねた「アイデアソン」、その結果も踏まえたオープンデータを活用した「ハッカソン」の２段階の内容を想定する。
- ◆ 「アイデアソン」は那覇および東京での開催（９月頃を想定）、「ハッカソン」は毎年補助事業者が１２月に那覇（自治会館）で開催する「Okinawa Open Days」と連携した開催を想定する。
- ◆ 「ハッカソン」での優秀な取組については、別途募集するスポンサーからの賞金等を検討するとともに、ハッカソン後の補助事業者と連携したサービスの実装に向けた支援を検討する。

▼オープンデータを活用したアイデアコンテスト(八重山圏域を対象としたアイデアソン・ハッカソン)の実施イメージ



5 バス停ナンバリング等とオープンデータのリンクに係る検討

- ◆ 利用者（観光客）へのわかりやすさの観点から、バス停等への番号付与や路線（方面）へのカラー設定等を検討するとともに、それを検索結果と連動させ、利便性の高い案内環境の実現に向けた検討を行う。
- ◆ バス停等のナンバリング・カラーリングとオープンデータの連動については、国交省のガイドラインにおいても記載はなく、全国的にも取組事例はない（バス停ナンバリングの事例はあるが、検索結果（オープンデータ）と連動した例はない）。
- ◆ そのため、バス側（事業者側）、データ側（検索結果側）の課題を整理し、取組方針を検討することからはじめ、年度内に沖縄本島の一部路線での実証実施に向け取り組む

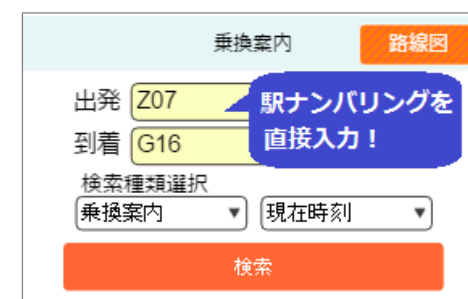
▼バス停ナンバリングの他県の事例（京成バス）

⇒バス停ナンバリングと路線図がリンクした例はあるが、検索結果とリンクした事例は現状はない



▼駅ナンバリング（東京メトロ）と検索結果のリンク事例（乗換案内NEXT）

⇒一部の乗換案内では、東京メトロの駅ナンバリングに対応（Google乗換案内は現時点で未対応）



6 オープンデータに伴う効果検証の実施

- ◆ 交通事業者や観光事業者、関係者の理解の促進やモチベーションアップに寄与し、事業後（2020年度以降）の自走化につなげるため事業効果を適切に把握する。
- ◆ 平成30年度に実施した宮古・八重山圏域での事前調査結果等を踏まえ、今年度は宮古・八重山圏域での事後調査、本島での事前・事後調査を実施する。
- ◆ 情報発信の状況、検索行動、実行動の変化等の観点より事業効果を把握するものとする。

▼効果検証の実施方針(案)

	調査項目	平成30年度	今年度実施案	
		事前調査	事前調査	事後調査
(1)情報発信	乗換案内サイトでの掲載状況	県全域	▶	県全域
	観光地・施設等へのアクセス情報の掲載状況	八重山・宮古	本島・ 周辺離島	県全域 (データ整備状況によつては一部)
(2)検索行動	移動手段の検索行動の傾向 (観光客アンケート)	八重山	本島	八重山 (・本島)
(3)実際の行動	観光客の実際の観光施設への移動等の行動の傾向 (観光客アンケート)	八重山	本島	八重山 (・本島)
	観光施設HP及び観光案内サイト、地図 検索サイトでの検索状況の変化 (HPアクセス数や検索回数など)	—	県全域 (対象WEBサイト等は要調整)	県全域 (対象WEBサイト等は要調整)
	交通事業者・観光事業者および空港観光 案内所への聞き取り等によるデータ整備 後の変化(利用者数、問合せ数など)	—	—	県全域 (対象事業者は要調整)

参考：平成30年度実施の事前調査結果（抜粋）

■ 大手検索サイト等における路線検索の可否状況（2019.1時点）

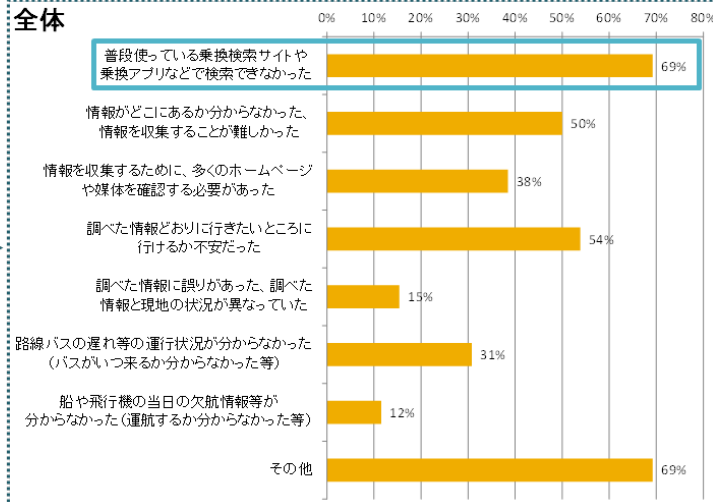
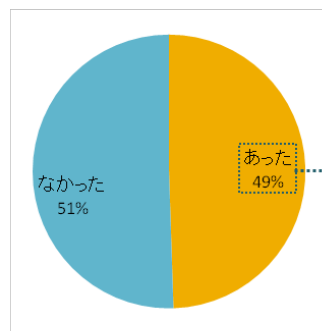
地域	Google map	Yahoo!/ 駅すぱあと	ジョルダン	NAVITIME
八重山	1／11 事業者 ※一部路線のみ掲載が1件	2／11 事業者 ※一部路線・停留所のみ 掲載が2件	5／11 事業者	5／11 事業者
宮古	0／6 事業者 ※一部路線のみ掲載が1件	2／6 事業者 ※一部路線のみ掲載が1件	2／6 事業者 ※一部路線のみ掲載が1件	2／6 事業者 ※一部路線のみ掲載が1件
本島・ その他離島	3／34 事業者 ※一部路線のみ掲載が1件	17／34 事業者 ※一部路線のみ掲載が2件	16／34 事業者 ※時刻表未対応が5件	14／34 事業者 ※一部路線のみ掲載が1件
計	4／51 (8%)	21／51 (41%)	23／51 (45%)	21／51 (41%)

■ バス・船の情報を検索する上で困ったことや不便に感じたこと（八重山圏域の観光客へのアンケート結果）

・バス・船の利用者の半数が検索する上で困ったことや不便があった
 →常用している乗換案内サイトで検索できなかったとの回答が約7割
 →利用中の不安や情報の所在が不明瞭・収集が困難と感じた方が半数

検索サイトで情報が得られること、
 分かりやすい情報発信が求めら
 れていると想定される

検索する上で困ったこと
 や不便に感じたこと



情報の誤りや遅延・
 運行情報が無いこと
 よりも、情報の収集が
 困難であることへの
 不満が大きい傾向

7 検討委員会の運営

- ◆ 有識者検討委員会は、4 回程度の開催を想定する。
- ◆ 今年度事業内容の検討に加え、委員会の中では、オープンデータを活用し、沖縄観光 2 次交通に係る課題解決、訪沖観光客の利便性向上や満足度向上につながる新たな事業の玉だし（有識者委員会からの提言等を想定）についても検討する。

▼委員会の開催内容(案)

	開催時期	検討内容
第1回検討委員会	本日(6/4)	・報告:今年度の取組方針 ・議題:本取組の自走・継続に向けて
第2回検討委員会	8月下旬～ 9月上旬	・報告:今年度の取組の進捗 ・議題:沖縄観光2次交通の利便性向上に向けた提言(中間まとめ案)
第3回検討委員会	11月頃	・報告:今年度の取組の進捗 ・議題:本取組の自走・継続に向けた取組方針等について
第4回検討委員会	2月頃	・報告:今年度の取組結果 ・議題:次年度からの取組方針 沖縄観光2次交通の利便性向上に向けた提言(最終案)

スケジュール

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
1. 交通情報および観光情報の継続的な入手												
2. オープンデータの周知広報および利活用促進			▼モデルルート発信 (宮古・八重山) ▼リーフレット 配布開始		▼ダウンロード ページ設置			▼モデルルート発信 (本島)				
3. 観光モデルコースの作成												
4. アイディアコンテスト等の実施							▼アイディアソン		▼ハッカソン			
5. バス停ナンバリング等と オープンデータのリンクに係る検討												
・課題整理、方針検討												
・実証(本島の一部路線での試行)												
6. オープンデータに伴う効果検証の実施												
・本島での事前調査												
・八重山での事後調査												
・本島での事後調査												
7. 検討委員会の運営			第1回		第2回			第3回			第4回	